

Canon

ワイヤレスリモートコントローラー

BR-E2

詳細ガイド

JA

目次

はじめに.	3
使用説明書について.	4
このガイドについて.	5
安全上のご注意.	6
リモコン使用時の注意事項.	7
各部の名称.	8
準備と基本操作.	10
リモコンとカメラを接続する.	11
静止画を撮影する.	14
動画を撮影する.	16
ズーム操作する.	17
露出を補正する.	19
リモコンファンクションボタン.	20
電池を交換する.	21
資料.	23
主な仕様.	24
商標・ライセンスについて.	25
本製品を廃棄するときは.	26

はじめに

ワイヤレスリモートコントローラー BR-E2は、Bluetooth® low energy technology (以下 Bluetooth) 対応のワイヤレスリモコンです。

キヤノン製デジタルカメラと接続すると、カメラをワイヤレスで操作できます。

* 対応しているカメラについては、キヤノンのホームページなどでご確認ください。

はじめに必ずお読みください

撮影の失敗や事故を未然に防ぐため、はじめに[安全上のご注意](#)をお読みください。また、この「詳細ガイド」をよく読んで正しくお使いください。

本機は防塵防滴構造ではありません。雨、砂、ほこりなどが本機に入らないようにしてください。

カメラの使用説明書もあわせてお読みください

ご使用になる前に、この「詳細ガイド」とカメラの詳細ガイドをお読みになって理解を深め、操作に慣れた上で正しくお使いください。

- [使用説明書について](#)
- [このガイドについて](#)
- [安全上のご注意](#)
- [リモコン使用時の注意事項](#)
- [各部の名称](#)

使用説明書について



製品に付属している「使用説明書」は、製品の基本的な内容について説明しています。

- 詳細ガイド

すべての使い方は、この「詳細ガイド」で説明しています。
最新の詳細ガイドは、下記のサイトでご確認ください。

<https://cam.start.canon/A011/>






このガイドについて

 [本文中の絵文字について](#)

 [操作説明の前提について](#)

本文中の絵文字について

	関連トピックへのリンクを示しています。
	撮影に不都合が生じる恐れのある注意事項を記載しています。
	補足説明や補足事項を記載しています。

操作説明の前提について

- この説明書では、ワイヤレスリモートコントローラーを「リモコン」と表記します。
- カメラとリモコンの電源が入っていることを前提に説明しています。
- カメラとリモコンがペアリング状態であることを前提に説明しています。
- 本文中のボタン、マークなどは、カメラとリモコンに使われている絵文字を使用しています。
- メニュー機能やカスタム機能などが初期状態になっていることを前提に説明していません。

安全上のご注意

安全に使っていただくための注意事項です。必ずお読みください。
お使いになる方だけでなく、他人への危害や損害を防ぐためにお守りください。



警告

死亡や重傷を負う恐れがある内容です。

- 乳幼児の手の届くところに置かない。
- バッテリーを子供の手の届く範囲内に置かない。
- 電池を飲み込むと危険です。飲み込んだときは、すぐ医師に相談してください。
- この製品はボタン/コイン電池を使用しています。
ボタン/コイン電池は危険であり、新品が使用済みにかかわらず、常に子供の手の届かないところに保管してください。
これらの電池を飲み込んだり、体のどこかに入れたりすると、2時間以内に重傷や死亡に至ることがあります。
ボタン/コイン電池を飲み込んだ、または体のどこかに入れた疑いがある場合は、直ちに医師の診察を受けてください。
- 指定外の電源は使わない。
- 分解や改造をしない。
- 強い衝撃や振動を与えない。
- 破損したときは、内部に触れない。
- 煙が出ている、異臭がするなどの異常が発生したときは使わない。
- アルコール、ベンジン、シンナーなどの有機溶剤で手入れしない。
- 液体でぬらしたり、内部に液体や異物を入れない。
- 可燃性ガスを含んだ空気中では使用しない。
感電、破裂、火災の原因となります。
- バッテリーや電池を使うときは、次のことに注意する。
 - 熱したり、火中投入しない。
 - 端子に他の金属や金属製のピンやゴミに触れさせない。
 - 液漏れしたものは使わない。
 - 廃却するときは、接点にテープを貼るなどして絶縁する。
感電、破裂、火災の原因となります。
 - 液漏れして身体や衣服についたときは、水でよく洗い流す。目に入ったときは、きれいな水で十分洗った後、すぐ医師に相談してください。
- 使用が禁止されている場所では、電源を切るなどの指示に従う。
電波の影響で機器類が誤動作し、事故の原因となる恐れがあります。



注意

下記の注意を守らないと、けがを負う可能性または物的損害の発生が想定されます。

- 製品を高温や低温となる場所に放置しない。
製品自体が高温や低温になり、触れるとやけどやけがの原因となります。


リモコン使用時の注意事項

「リモート操作を行った際に時間がかかる」、「リモート操作ができない」などの現象が起きたときは、下記の内容を参考にしてください。

カメラと本製品との距離について

本製品の作動距離は、全周約5mです。本製品とカメラが離れすぎていると、リモート操作ができないことがあります。その場合は、本製品をカメラに近づけてリモート操作を行ってください。

本製品の通信を妨げる遮蔽物について

- 本製品とカメラの間に、人や遮蔽物が入ると、本製品の作動距離が短くなる場合があります。
- 本製品の〈〉に指がかかる状態で操作をすると、作動距離が短くなる場合があります。

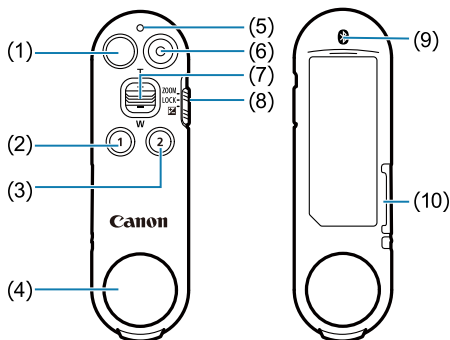
2.4GHz帯の電波干渉について

本製品は、2.4GHz帯の電波を使用してBluetoothの通信を行っています。そのため、同じ周波数帯を使用する電子機器を使うと、本製品でリモート操作を行った際に時間がかかったり、リモート操作ができない場合があります。

- 同じ周波数帯を使用する電子機器には、Wi-Fi機器、スマートフォン、Bluetooth機器、電子レンジ、コードレス電話機などがあります。
- 近くの電子機器と本製品の電波が干渉しているときは、電子機器の使用をやめるか、機器から離れた場所で、本製品を使用してください。
- 近くに電子機器が見当たらない場合でも、周辺の建物や車などで使用されている電子機器と本製品の電波が干渉している場合があります。そのようなときは、しばらく時間が経ってから本製品を操作すると、上記の現象が改善する場合があります。

各部の名称

☑ ランプの表示



- | | |
|------|--|
| (1) | レリーズボタン |
| (2) | 〈1〉リモコンファンクションボタン1 |
| (3) | 〈2〉リモコンファンクションボタン2 |
| (4) | ストラップホール |
| (5) | ランプ |
| (6) | 動画撮影ボタン |
| (7) | ズームレバー/露出補正レバー
ズーム時：〈T〉望遠/〈W〉広角
露出補正時：〈+〉プラス補正/〈-〉マイナス補正 |
| (8) | 〈ZOOM/LOCK/☒〉ズーム/ロック/露出補正切り換えスイッチ |
| (9) | 〈Bluetooth〉Bluetoothロゴ |
| (10) | 電池ホルダー |

参考

- ストラップは付属していません。

ランプの表示

ランプ	状態
点灯	ベアリング完了、ファームウェアアップデート完了、AF合焦、バルブ撮影開始、動画撮影開始、静止画撮影完了
点滅	ベアリング開始、ファームウェアアップデート中、バルブ撮影終了、動画撮影終了
速い点滅	エラー、AF非合焦

準備と基本操作

この章では、カメラとの接続方法と、基本操作について説明しています。

- [リモコンとカメラを接続する](#)
- [静止画を撮影する](#)
- [動画を撮影する](#)
- [ズーム操作する](#)
- [露出を補正する](#)
- [リモコンファンクションボタン](#)
- [電池を交換する](#)

リモコンとカメラを接続する

[接続情報を確認する](#)

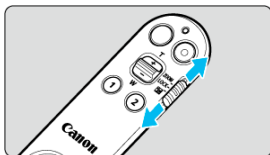
[接続情報を削除する](#)

リモコンとカメラをBluetooth機能で接続します。

1. カメラをペアリング待機状態にする

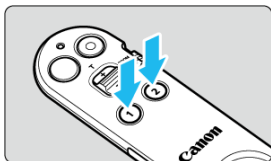
- カメラのメニュー画面から、[ワイヤレスリモコンと接続] を選びます。詳しくは、カメラの使用説明書を参照してください。

2. リモコンを設定する



- ズーム/ロック/露出補正切り換えスイッチを〈LOCK〉以外の位置にします。

3. リモコンとカメラを接続する



- 〈1〉 ボタンと〈2〉 ボタンを同時に3秒以上押します。ペアリングが開始されます。
- ペアリングが完了すると、ランプが一回点灯します。また、リモコンがカメラに登録され、液晶モニターにメッセージが表示されます。
- ペアリングに失敗すると、ランプが速く点滅します。そのときは、〈1〉 ボタンと〈2〉 ボタンを押し直してください。

⚠ 注意

- 最大で5機種のカメラとのペアリング情報を登録できます。5機種のカメラとペアリング済みの場合、登録されていない機種のカメラとペアリングを行うと、いちばんはじめに登録した機種のパリング情報が新しい機種のパリング情報に上書きされます。
- リモコンが接続できるカメラは1台だけです。接続するカメラを変更するときは、接続中のカメラの【Bluetooth】を【使わない】に変更するなどして、接続を終了してください。

📖 参考

- カメラの電源をオフにしても、ペアリングは解除されません。カメラの電源を入れると、リモート操作ができるようになります。

接続情報を確認する

カメラのメニュー画面から、ペアリングしたリモコンの接続情報を確認できます。接続情報は、リモコンの裏面に記載されているBluetoothアドレス（12桁の英数字）で表示されます。詳細については、お使いのカメラの詳細ガイドを参照してください。

接続情報を削除する

ペアリングするリモコンを変更するときや、ペアリングをやり直すときは、カメラのメニュー画面で接続情報を削除してください。詳細については、お使いのカメラの詳細ガイドを参照してください。

静止画を撮影する

リモコンのリリースボタンを押すと、静止画を撮影することができます。

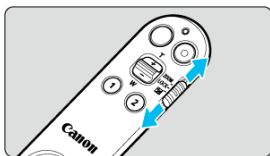
1. リモコンとカメラを接続する

- リモコンとカメラをBluetooth機能で接続します。(📶)

2. カメラを設定する

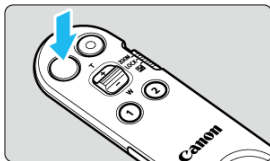
- カメラを静止画撮影の設定にします。

3. リモコンを設定する



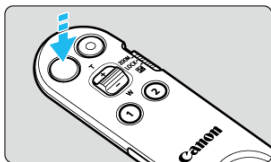
- ズーム/ロック/露出補正切り換えスイッチを〈LOCK〉以外の位置にします。

4. ピントを合わせる



- リリースボタンは二段階になっています。リリースボタンを一段目まで浅く押すと、カメラが自動ピント合わせ (AF) を行います。

5. 撮影する



- レリーズボタンを二段目まで深く押すと、カメラのシャッターが切れて撮影されます。

参考

- 動画撮影モードでのリモコンのレリーズボタンの動作は、カメラのレリーズボタンの動作と同じになります。

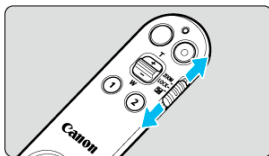
動画を撮影する

リモコンの動画撮影ボタンを押すと、動画を撮影することができます。

1. リモコンとカメラを接続する

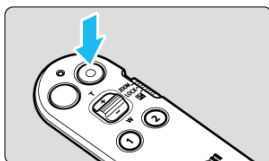
- リモコンとカメラをBluetooth機能で接続します。(📶)

2. リモコンを設定する



- ズーム/ロック/露出補正切り換えスイッチを〈LOCK〉以外の位置にします。

3. 動画撮影ボタンを押す



- リモコンのランプが1回点灯し、動画撮影が始まります。
- もう一度動画撮影ボタンを押すと、リモコンのランプが2回点灯し、動画撮影が終了します。

⚠ 注意

- リモコンの操作音が録音されることがあります。

ズーム操作する

リモコンで、ズーム操作できます。

1. リモコンとカメラを接続する

- リモコンとカメラをBluetooth機能で接続します。(📶)

2. カメラを設定する

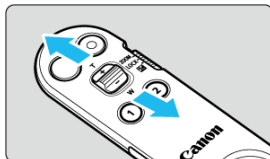
- パワースームアダプターを使うときは、パワースームアダプターを設定してください。

3. リモコンを設定する



- ズーム/ロック/露出補正切り換えスイッチを〈ZOOM〉の位置にします。

4. ズーム操作する



- ズームレバーを動かします。〈W〉側に動かすと広角側、〈T〉側に動かすと望遠側にズームします。

参考

- レバーは2段階になっていて、カメラによっては光学ズーム速度を2段階にできません。対応する機種についてはキヤノンのホームページを参照してください。
- パワースームアダプターのレンズへの取り付け方、操作方法などについては、パワースームアダプターの説明書を参照してください。

露出を補正する

リモコンで、露出を補正できます。

1. リモコンとカメラを接続する

- リモコンとカメラをBluetooth機能で接続します。(📶)

2. カメラを設定する

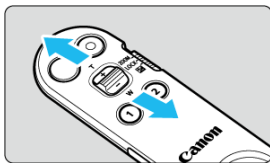
- 露出補正ができる撮影モードを選びます。

3. リモコンの切り換えスイッチを設定する



- ズーム/ロック/露出補正切り換えスイッチを (🔒) の位置にします。

4. 露出を補正する



- 露出補正レバーを動かします。〈+〉側に動かすと明るく、〈-〉側に動かすと暗く補正されます。
- 露出補正は、レバーを押すごとに補正されます。押したままにしても連続で補正されません。

リモコンファンクションボタン

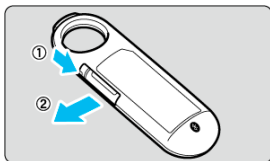
〈1〉ボタンと〈2〉ボタンそれぞれに機能を割り当てることができます。
設定方法については、お使いのカメラの説明書を参照してください。

電池を交換する

リモコンのボタンを押したときに、ランプが光らなくなったときは、電池を交換してください。ボタン型リチウム電池CR2032を1個使用します。

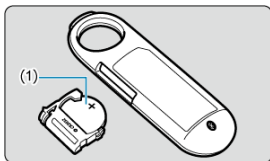
1. 電池ホルダーを抜く

- ボールペンなどの先端でレバーを押しながら、電池ホルダーを引き抜きます。



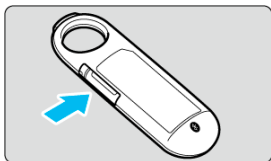
2. 電池を交換する

- 電池ホルダーの古い電池を、新しい電池と交換します。



3. 電池ホルダーを差し込む

- 向きを間違えないようにし、電池ホルダーをリモコンに挿入します。



資料

- [主な仕様](#)
- [商標・ライセンスについて](#)

主な仕様

形式	ワイヤレスリモートコントローラー
準拠規格	Bluetooth Specification Version 5.1準拠 (Bluetooth low energy technology)
伝送方式	GFSK変調方式
作動距離	全周約5m * リモコンとカメラの間に障害物、遮蔽物がなく、他の機器との電波干渉がない場合
電源	ボタン型リチウム電池CR2032
大きさ (幅×高さ×奥行)	約27.0 × 91.8 × 11.9mm
質量	約14g (本体のみ)
使用可能温度	0～+40℃
使用可能湿度	85%以下

- 記載データはすべて当社試験基準によります。
- 製品の仕様、および外観の一部を予告なく変更することがあります。

商標・ライセンスについて

- Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、キヤノン株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。
- その他の社名、商品名などは、各社の商標または登録商標です。

本製品を廃棄するときは

本製品に使用しているボタン電池はリサイクル可能な貴重な資源です。使用済みの製品を廃棄する際はボタン電池を取り出し、リサイクルにご協力ください。廃棄の前には以下をよくお読みになり、ご理解の上ボタン電池を取り出してください。以下の記載に反する行為などによる損害については、当社では一切の責任を負いかねます。

警告

- 火災・感電・けがの原因となるため、製品を廃棄するとき以外は絶対に分解しないでください。
- 本体を分解する際にネジなどの小さい部品が出てきます。小さい部品を誤って口に入れないよう、小さなお子様手の届かない所で分解してください。万一飲み込んだ場合はただちに医師にご相談ください。

注意

- 使用済みのボタン電池は、各自治体のルールにしたがって処分してください。